

平成29年度先端技術科学教育部博士前期課程（第2次）入学試験問題

環境・生態工学

（一般入試）

（知的力学システム工学専攻 建設創造システム工学コース）

（注意事項）

1. 問題用紙および解答用紙は、係員の指示があるまで開かないこと。
2. 問題用紙、解答用紙は、この表紙を除いて問題用紙 5 枚（解答用紙を含む）である。
3. 解答は、解答用紙の指定された番号の解答欄に書くこと。指定された解答欄以外に書いたものは採点しない。また、裏面に解答したものも採点しない。
4. 解答開始後、解答用紙の所定欄に受験番号をはっきりと記入すること。
5. 配付した用紙はすべて回収する。

受験番号

環境	生態工学

選択した科目に○を入れてください

受験番号	第	番
------	---	---

## 環境・生態工学 その1

受験者は、第1群(環境)、あるいは第2群(生態工学)のうち、どちらか一つの群を選び、それらの問題について解答しなさい。両群にまたがって解答した場合は無効となります。

第1群(環境)
---------

第1問 次の言葉の内容を説明しなさい。

- (1) 気候変動枠組条約
- (2) ハーランドデーリーの3条件
- (3) 循環型社会形成推進基本法

---

[第1群第1問の解答箇所]

小計	点
----	---

受験番号	第	番
------	---	---

## 環境・生態工学 その2

第1群 (環境)
----------

第 2 問 水質について下記の説明をなさい。

- (1) 飽和溶存酸素濃度と水温との関係について説明しなさい。
- (2) COD と BOD の違いについて説明しなさい。
- (3) 閉鎖性海域での成層化について説明しなさい。

---

[第1群第2問の解答箇所]

小計	点
----	---

受験番号	第	番
------	---	---

## 環境・生態工学 その3

受験者は、第1群(環境)、あるいは第2群(生態工学)のうち、どちらか一つの群を選び、それらの問題について解答しなさい。両群にまたがって解答した場合は無効となります。

### 第2群(生態工学)

第1問 次の用語を説明しなさい。

- (1) 外来種
- (2) ニッチ (生態的地位)
- (3) レッドデータブック
- (4) エコトーン

---

[第2群第1問の解答箇所]

小計	点
----	---

受験番号	第	番
------	---	---

## 環境・生態工学 その4

### 第2群(生態工学)

第 2 問 「順応的管理」について、以下の問いに答えなさい。

- (1) 順応的管理について説明しなさい。
- (2) 順応的管理を行なうための手続き（プロセス）を説明しなさい。

---

[第2群第2問の解答箇所]

小計	点
----	---

受験番号	第 番
------	-----

## 環境・生態工学 その5

### 第2群(生態工学)

第 3 問 「野生動物の野生復帰」について、以下の問いに答えなさい。

- (1) 国内の具体的な例と期待される効果について説明しなさい。
- (2) 野生動物の野生復帰の位置づけについて説明しなさい。

---

[第2群第3問の解答箇所]

小計	点
----	---